

先進地（現地）調査報告書

令和6年3月29日

玉名市議会議長
江田 計司 様

氏 名 作本 幸男

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	中村慎吾、浜田繁次郎、田浦敏晴、立川信之、坂本公司、西川裕文、江田計司、作本幸男議員		
日 時	令和5年11月6日（月）午後3時15分～午後4時40分		
調 査 先	京都府宮津市役所	自動車使用に係る走行距離	km
調 査 事 項	市民と議会の懇談会について		
調査先面会者	宮津市議会 議会情報化委員会 委員長 久保 浩 副委員長 宇都宮綾		
概要及び所見	（概要） 平成4年議会基本条例が制定され、議員が市民全体の代表である自覚と、市民の意識改革、市民への情報提供、説明責任を積極的に推し進めるために、議会報告会が義務化されていた。 14名の議員が2班に分かれ各6か所を受け持ち、懇談会の頻度は年2回以上、自治会の回覧などで周知を行い、常任委員会の関連団体と各地区で開催。R4のテーマは、「子育て世代の声を聴こう」、「地域の困りごと」、R5は「持続可能なまちづくり」。現在は対面方式からワークショップで開催。また、懇談会の目的は行政に対する要望の橋渡しの場ではないことを懇談前に説明され、参加者へのアンケートも行われていた。 （所見） 玉名市議会も、R6年より懇談会を始めることとしており、有意義で参考となる研修であった。		

様式 2

先進地（現地）調査報告書

令和 6 年 3 月 2 9 日

玉名市議会 議 長
江田 計司 様

氏 名 作本 幸男

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	中村慎吾、浜田繁次郎、田浦敏晴、立川信之、坂本公司、西川裕文、江田計司、作本幸男議員		
日 時	令和 5 年 1 1 月 7 日（火）午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 3 0 分		
調 査 先	京都府南丹市役所	自動車使用に係る走行距離	km
調 査 事 項	青空議会の取組について		
調査先面会者	南丹市市議会広報広聴委員会 委員長 平田聖治 副委員長 塩貝孝之 副委員長 山下秋則 委員 下間康広 委員 吉田尋子		
概要及び所見	（概要） 広報活動としては、「なんたん円卓会議」に加え、今年度から「なんたん未来会議」、「出前おしゃべり青空会議」を行なっていた。 円卓会議は、報告会ではなく意見交換のできる市民との語らいの場。未来会議は若い世代との意見交換、青空議会は、議員が市内のイベントに出向き市民の意見を聴くもので、イベントの対象は市または教育委員会の主催、後援、協力するものに限定。青空議会は、議員が積極的に出向き、市民の意見を聴く機会づくりを目的に実施されていた。R 5 にスタートし 3 回開催されるも、参加者が少なく今後の課題となっていた。 （所見） イベントへこちらから出向き市民との意見交換会は大切であると感じた。また、未来会議も含めて、学生との意見交換も大切であると感じた。		

様式 2

先進地（現地）調査報告書

令和6年3月29日

玉名市議会

議長 江田 計 司 様

氏 名 作本 幸男

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文 近松恵美子 作本幸男 中尾嘉男		
日 時	令和6年2月14日（水） 午前・午後 9時00分 ～ 午前・午後 10時30分		
調 査 先	萩市役所	自動車使用に 係る走行距離	km
調 査 事 項	萩まちじゅう博物館の取り組み		
調査先面会者	萩市商工観光部 次長 大槻洋二 商工観光部 まちじゅう博物館推進課 課長補佐 井上健助		
概要及び所見	概要 昭和35年山口県初の萩市文化財保護条例を制定し、昭和47年市内7地区を指定した萩市歴史的景観保存条例を制定した後、平成17年3月1市2町3村が合併し、当時人口は約6万人。現在は4.3万人となり、消滅可能性都市に指定された中、合併2年前から、萩まちじゅう博物館構想が策定され、歴史、文化、自然の豊富なおたからのある萩市に愛着と誇りをもち、萩まちじゅうを博物館とし、萩のおたからを活かした協働によるまちづくり・観光地づくりを行ない、人材育成・経済活動の推進を行っていた。官民一体となり各地域がそれぞれ自分の地域の活性化のために活動を行なっている。 所見 今年は、萩まちじゅう博物館が開館して20周年を迎えることを記念して萩まちじゅう博覧会が行なわれる。我が玉名市も、地域それぞれの良さ、お宝を再発見し、守り育て、未来に繋げて行くことが必要と感じた。		